

## 議会改革に関する特別委員会会議記録（概要）

令和3年3月19日（金）

開 会（午後1時30分）

### 【議 事】

#### 政治倫理条例の改正について

島田委員長

前回の委員会において、所沢市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例（案）を確認し、パブリックコメント手続を進めることとしましたので、その進捗状況について報告します。

令和3年3月9日から募集を開始し、本日の正午までに応募された意見は1件です。

お手元に配付してあります応募された御意見は、特段、修正等を求めるものではなく、条例案に好意的な御意見でしたので、御確認ください。

募集期間を3週間設けているため、締切りは3月29日午後5時15分までとしており、応募があった場合は正副委員長で内容を精査して、適宜委員の皆様へ確認等を行います。

パブリックコメント終了後の結果について、委員会で協議することとしてよろしいでしょうか。

（委員了承）

荻野委員

応募された御意見に対して、回答を考える必要があるが、回答案を作成

したほうが、皆さんが議論しやすいのではないか。

島田委員長

それでは、回答案を正副委員長で作成することよろしいでしょうか。

(委員了承)

## 予算常任委員会のあり方について

島田委員長

予算常任委員会のあり方については、令和2年9月14日に開催した委員会において、当面は現状どおりに運用していくこと、改選後速やかに検討することといった意見があり、これ以降は協議を見送っていました。

令和3年2月10日開催の議会運営委員会において、再びこの件について検討が必要ではないかという意見があったため、中村議会運営委員会委員長から私へ話がありました。

これについて、皆様から御意見はありますか。もしくは、議会運営委員会で福原委員からあった話なので、川辺委員から何か御説明されることがあれば、お願いします。

川辺委員

令和2年に開催した委員会では、予算常任委員会となって、1年しか経過していない状況もあって、今後、変えていくことに関してはもう少し様子を見たほうがよいのではないかという見解を示した。しかし、令和2年8月18日に当委員会で参考人招致をし、地方議員が予算審議に関わっていくことの大切さや、令和2年9月及び12月定例会の四常任委員会の付託状況も鑑みて課題があると認識した。前の第18期に深い協議をして選抜型となった経緯はあるが、全員参加型も取り入れ、選抜型のよさと全員参加型のよさを取り入れるような方向で検討してみてもよいのではないかとということで、先日、同じ会派の福原議員から提案させていただいた。

矢作委員

2月10日の議会運営委員会で福原議員から提案されていたが、運用の仕方であったと思う。定数は今のままでいくとすれば、運用の仕方については、議会運営委員会の場で協議してはどうか。

島田委員

当委員会で最初に議論していたのは、特別会計と事業会計を四常任委員会に付託したらどうかということだったが、予算常任委員会のあり方をどうするかというところまでは、当委員会に付託されていたわけではないものと理解している。

議会運営委員会では福原議員から御提案があったが、委員交代を自由とすると通告のあり方をどうするかなどの課題もある。質疑及び一般質問を全員が実施し、予算常任委員会も傍聴した上で全員が参加するというのであれば、どこかで議論する意味はあるかもしれないが、そういう状況が見られない中で、実施して2年が経過するが、時期尚早ではないかという意見を個人として持っている。

川辺委員

提案させてもらったが、仮に当委員会で予算常任委員会のあり方を議論していくならば、令和2年5月11日に議会改革に関する特別委員会と議会運営委員会のすみ分けについて、正副議長と議会運営委員会正副委員長の打ち合わせで、予算委員会のあり方については議論されていないとのことであったため、今回の件も議長を通じて議会運営委員会で協議するといった手順を踏んでいただきたい。

矢作委員

いろいろと経緯があって予算常任委員会は始まっているが、予算委員でないと見えにくくなってくるので、全員が関われる形がよいという意見が出ている。運用の仕方のできることであれば、そういう形がよいという意見が出ている。

松本委員

自由民主党は従来から全員でやるべきだという考え方があり、現状を見ると議員の関心度は予算常任委員会に集中している感は否めない。基本的には全員で討議すべきと考える。以前の、四常任委員会に付託するメリットも再考すべきという考えを持っている。この2年間、各常任委員会に所属している委員は、所属委員会のテーマにかなり関心を持って審査しているので、予算についても討議の対象とするべきという考え方を持っている。こういう提案があった機会なので、検討するにはやぶさかでない。まずは議会運営委員会で方向性を決めてからとなると思う。

石原委員

自由民主党・無所属の会で、予算常任委員会設置から2年経過して感じている課題は、予算常任委員会と各四常任委員会との付託のバランスと、委員間での負担に違いがあるといったことだ。当委員会で制度の改正を話し合っていく権限が与えられているのか。時間的にもできないと思うので、やるのであれば、機会を改め、議会運営委員会なりで行うほうがよい。

石本委員

今の予算常任委員会にするべきだとなった時の原点が、まず修正を可決しづらいということだ。以前のように分割付託していると、同一事業の歳入と歳出が別の委員会で審査されるので、他の委員会の状況が把握しづらいといった認識は共有しておきたい。

川辺委員が言っていた5月11日にすみ分けをしていた頃と状況が変わったことがあり、議員が辞職や御逝去され、7人の委員会のあり方がどうなのかという話が議会運営委員会で出ている。総務経済常任委員会ですの件について協議したが、全委員会のあり方に関わる話になってくるといいう話があった。もともと今の定数にするときに、諮問、答申を受け、所沢市の人口規模からすると、一常任委員会が9人で、四常任委員会と議長を合わせて37人が好ましいが、定数を増やすわけにはいかないということで、8人の例外措置をとっている。しかし、さらに7人の委員会があることについて、中村議会運営委員会委員長から投げかけられているので、当委員会で飛び越して議論していくのは、議会運営委員会と食い違いが発生する可能性もある。まずは、今定例会の正副委員長連絡協議会における報告から、議長を含め、議会運営委員会正副委員長でどのような方針でいくのか明らかになってから当委員会で協議するのでよいと思う。

島田委員長

予算常任委員会のことは議会運営委員会で方向性を決めたほうがよいのではないかと、選抜制や全員参加型のメリットについて議論したほうがよい、時期尚早であるなど、皆さんからの意見をまとめ、協議した結果を中

村議会運営委員会委員長に報告するということによろしいでしょうか。

(委員了承)

## その他

島田委員長

議会BCPの素案については、政策研究審議会に諮問を依頼しており、令和3年1月22日に開催された会議で説明を行ってきました。令和3年4月19日に2回目の会議が開催され、正副委員長で出席して答申をいただく予定となっています。

次回の日程は、4月13日(火)と26日(金)の午後1時30分から開催することよろしいでしょうか。

(委員了承)

散 会(午後1時51分)